

瑞浪市公共施設等総合管理計画

個別施設計画

【行政系施設】

⑭公衆便所（各公衆トイレ）

（第 1 期第 6 版）

令和 7 年 3 月

瑞浪市経済部商工観光課

目 次

1. 計画の策定について	1
（1）計画策定の趣旨	1
（2）計画の位置づけ	1
（3）対象施設	1
（4）計画期間	1
2. 現状について	1
（1）個別施設の状態等	1
（2）施設ニーズの対応	3
3. 計画策定方針について	3
（1）基本方針	3
（2）対策の優先順位の考え方	3
4. 具体的な取組内容について	3
（1）対策内容と実施時期	3
（2）対策費用と今後の方向性・スケジュール	4

改訂履歴

初版	平成30年2月
第2版	令和3年3月
第3版	令和4年3月
第4版	令和5年5月
第5版	令和6年3月
第6版	令和7年3月

1. 計画の策定について

(1) 計画策定の趣旨

瑞浪市では、主に中山道・東海自然歩道を散策される方のために、中山道・東海自然歩道中を中心に8箇所に公衆トイレを整備しています。

近年では、全国から中山道を中心に散策者が増えている中、公衆トイレ利用者の増加しており、観光客等が安心して楽しんでもらえるよう、利便性向上のために、維持管理していかなければならず、施設の老朽化等による細やかな修繕・改修等が今後必要になっていくものと思われます。

このような課題等に対処していくために、公衆トイレの個別施設計画を策定し、取り組んでいきます。

(2) 計画の位置づけ

本計画は、「瑞浪市公共施設等総合管理計画」の個別施設計画として位置づけています。

(3) 対象施設

本計画の対象施設は、平成26年度（2014年度）に整備した固定資産台帳による公衆トイレで9施設です。

対象とする施設

中分類	小分類	施設数	施設名称
行政系施設	公衆便所	9	東海自然歩道 琵琶峠トイレ 東海自然歩道 大湫公衆トイレ 東海自然歩道 細久手公衆トイレ 鬼岩駐車場 公衆トイレ ドラゴン21ふれあい広場 公衆便所 東海自然歩道 北野公衆トイレ 世界一のこま犬 公衆トイレ 東海自然歩道 大久後公衆トイレ（バイオトイレ） 東海自然歩道 大久後公衆トイレ※R3 除却

(4) 計画期間

本計画の期間は、「瑞浪市公共施設等総合管理計画」の個別施設計画という位置づけから、平成29年度（2017年度）から令和8年度（2026年度）までの10年間を第1期とし、ローリングします。

なお、5年ごとに見直すことを基本としている瑞浪市公共施設等総合管理計画と整合を図っていきます。

2. 現状について

(1) 個別施設の状態等

利用者の利便性を向上させるために、これまでも必要に応じて施設の修繕を行ってきています。
しかしながら、大半の公衆トイレが老朽化している状態のため、今後も計画的な整備が必要な状況となっています。

また、整備を進めるにあたっては、それぞれの施設が抱える様々な課題の解決を考慮するとともに、利用者のニーズに応じた適正な施設の整備や、施設環境を整えていく必要があります。

この計画で対象となる施設の状態等は以下のとおりです。

施設名	建築年度	延床面積	構造	老朽化率
東海自然歩道 琵琶峠トイレ	H12 (2000) 年度	23.04 m ²	木造	100.0%
東海自然歩道 大湫公衆トイレ	H10 (1998) 年度	35.08 m ²	木造	100.0%
東海自然歩道 細久手公衆トイレ	H10 (1998) 年度	18.20 m ²	木造	100.0%
鬼岩駐車場 公衆トイレ	H5 (1993) 年度	63.00 m ²	鉄筋 コンクリート	70.2%
ドラゴン21ふれあい広場 公衆便所	H20 (2008) 年度	16.57 m ²	木造	73.7%
東海自然歩道 北野公衆トイレ	S60 (1985) 年度	22.75 m ²	コンクリート ブロック造	100.0%
世界一のこま犬 公衆トイレ	H4 (1992) 年度	24.00 m ²	木造	100.0%
東海自然歩道 大久後公衆トイレ (バイオ トイレ)	H26 (2014) 年度	6.00 m ²	鉄骨造	13.5%
東海自然歩道 大久後公衆トイレ ※R3年度(2021年度)除却	S58 (1983) 年度	5.94	コンクリート ブロック造	100.0%

※令和元年度(2019年度)固定資産台帳によるデータ

これまで実施した施設更新内容

施設名	建築年度	更新年度と内容
鬼岩駐車場 公衆トイレ	H5 (1993) 年度	H26 (2014) 年度【設備修繕】 H27 (2015) 年度【設備修繕】 H29 (2017) 年度【施設改修】 R5 (2023) 年度【施設改修・設備修繕】
東海自然歩道 大湫公衆トイレ	H10 (1998) 年度	H27 (2015) 年度【設備修繕】

東海自然歩道 琵琶峠トイレ	H12（2000） 年度	R1（2019）年度【設備修繕】 R4（2022）年度【設備修繕】
東海自然歩道 大湫公衆トイレ	H10（1998） 年度	R1（2019）年度【設備修繕】

（２）施設ニーズの対応

中山道・東海自然歩道を中心に散策される方が増加しており、公衆トイレの利用ニーズは高いと考えています。引き続き、散策者が安心して散策できる環境を整えるために、公衆トイレを維持し、施設の整備を進めていきます。

３．計画策定方針について

（１）基本方針

現行の公衆トイレの大半が老朽化している中で、引き続き中山道・東海自然歩道を中心に散策される方が安心して利用でき、将来も持続可能な環境を整えるための整備に取り組むとともに、利用者が少ない・利用者の安全確保の観点から維持できない状況であれば、施設の廃止を含め、集約化など適正規模を検討します。

（２）対策の優先順位の考え方

施設の整備を進めるにあたり、次の視点から総合的に検討し、緊急性と実現性の高い整備を優先的に進めていきます。

○施設利用者の安全の確保

施設利用者の安全を確保する上で、課題が発生した場合については、その解消を図るため優先的に取り組みます。

○費用対効果

施設整備に伴う費用と、整備により得られる歳出削減額の効果を検証し、より高い費用対効果が見込まれる場合は、優先的に取り組みます。

４．具体的な取組内容について

（１）対策内容と実施時期

老朽化をはじめ、施設に課題がある場合は改修を行うこととし、耐用年数を超えて改修する場合は他の次の対策について検討します。

○長寿命化、廃止

- ・今後も一定の利用者の数が変わらず、一定の需要が見込める公衆トイレについては、長寿命化を図り、ライフサイクルコストを図ります。
- ・利用者が減少しているところや施設が著しく老朽化し、利用者の安全が確保できない箇所については、廃止を検討します。

(2) 対策費用と今後の方向性・スケジュール

施設名	建築 年度	耐用 年数	使用目 標年数	今後の 方向性	実施年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
東海自然歩道 琵琶峠トイレ	H12	15		集約化 適正規 模検討	対策内容			一部 洋式化			設備 更新	設備 更新		設備 更新	
					対策費用			1.05			0.2	0.08		1.38	
東海自然歩道 大湫公衆トイレ	H10	15		集約化 適正規 模検討	対策内容			一部 洋式化						設備 更新	
					対策費用			1.08						2.1	
東海自然歩道 細久手公衆トイレ	H10	15		集約化 適正規 模検討	対策内容									設備 更新	
					対策費用									1.0	
鬼岩駐車場 公衆トイレ	H5	38		集約化 適正規 模検討	対策内容	設備 更新				改修 設計		改修 工事	設備 更新		
					対策費用	0.36				2		30.8	1.35		
ドラゴン21ふれあ い広場 公衆便所	H20	15		集約化 適正規 模検討	対策内容										設備 更新
					対策費用										1.02
東海自然歩道 北野公衆トイレ	S60	34		集約化 適正規 模検討	対策内容									設備 更新	
					対策費用									1.38	
世界一のこま犬 公衆トイレ	H4	22		集約化 適正規 模検討	対策内容				一部 洋式化					設備 更新	
					対策費用				0.2					1.44	
東海自然歩道 大久後公衆トイレ (バイオトイレ)	H26	38		集約化 適正規 模検討	対策内容										設備 更新
					対策費用										0.3
東海自然歩道 大久後公衆トイレ	S58	34		除却	対策内容					除却					
					対策費用										

- ・施設の法定耐用年数を超えて延伸させることを目的とした長寿命化改修を行う場合は、施設の使用目標年数とその必要性を記載すること。
- ・対策費用の単位は、百万円とすること。(対策費用は概算であり、変更する場合がある)